

次
の
三
十
年
へ。
目
指
す
べ
き
。

つながりあう未来のために、今できること

Now ing.

株主通信 | 2010年秋冬号 |

2010年4～9月期決算で増収増益
「ソフトバンク 新30年ビジョン」を発表
お客さま満足度向上の取り組みで高評価を獲得





Now *go* ing.

ソフトバンク 新30年ビジョン



情報革命で人々を幸せに

創業30年を迎えた今年、「ソフトバンク 新30年ビジョン」を発表しました。

情報革命で人々を幸せに。この理念の実現こそが、

これからのソフトバンクのあるべき姿だと確信しています。

私たちは次の30年も立ち止まることなく、前進し続けます。

「ソフトバンク 新30年ビジョン」のポイント

- 世界の人々から最も必要とされる企業を目指し、企業価値の向上をはかります。
- 事業領域を「情報産業」に集中、成長し続けるために特定のテクノロジー・ビジネスモデルにはこだわられません。
- 世界の最も優れた企業とパートナーシップを結び、戦略的シナジーグループを形成します。
- 「ソフトバンクアカデミア」を開校し、ビジョンを継承する後継者を発掘・育成します。



「ソフトバンク 新30年ビジョン」が本になりました。

「もっとも大切なスピーチ」と社長の孫正義自身が語る、ソフトバンクのビジョンを完全収録。ぜひご覧ください。

お近くの書店でお求めいただけます。(2010年11月末発売)

株|主|通|信| 2010年秋冬号 |

目次

- 2 株主の皆さまへ
- 2 report 1.
2010年4～9月期の決算報告
- 3 report 2.
移動体通信事業での取り組み
- 4 report 3.
これからのモバイルインターネット戦略
- 5 Q&A
- 6 特集「今」取り組んでいること
- 6 1. ソフトバンクモバイル
2010年冬・2011年春新機種
- 6 2. お客さま満足度向上への取り組み
- 7 3. 福岡ソフトバンクホークス リーグ優勝
- 8 連結業績ハイライト
- 10 セグメント別営業概況
- 12 株主アンケート 結果ご報告
- 13 会社概要



ソフトバンク株式会社
代表取締役社長

孫 正義

増収増益で順調に
推移いたしました

ソフトバンクグループは2010年4～9月期も順調に業績を伸ばすことができました。営業利益は4～9月期ベースで3,000億円を突破し、5期連続で過去最高益^{※1}を更新しました。売上高、EBITDA^{※2}、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてにおいて前年同期を上回り、特にEBITDAは7期連続、経常利益は5期連続で過去最高^{※1}を達成しました。また、フリー・キャッシュ・フロー^{※3}は2,196億円を創出しました。好調な事業から創出されるフリー・キャッシュ・フローにより、純有利子負債^{※4}についても、ピーク時と比べて約9,300億円削減しました。2014年度末までに純有利子負債をゼロにするという目標達成に向けて、当初の予定を上回るペースで削減が進んでいます。これは、モバイルインターネットの広がりを受けた、移動体通信事業の成長が大きな要因となっています。

■2010年4～9月期 7つの連結業績で「過去最高」を達成

連結業績	(前年同期比)				
□売上高	過去最高 ^{※1}	+9%	□経常利益	5期連続 過去最高 ^{※1}	+46%
□EBITDA	7期連続 過去最高 ^{※1}	+19%	□当期純利益	2期連続 過去最高 ^{※1}	+9%
□営業利益	5期連続 過去最高 ^{※1}	+37%	□営業キャッシュ・フロー	2期連続 過去最高 ^{※1}	+11%
			□フリー・キャッシュ・フロー	2期連続 過去最高 ^{※1}	+24%

※1. 当社が連結決算を開始した1994年度以降 ※2. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損 ※3. フリー・キャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー ※4. 純有利子負債=有利子負債-手元流動性 手元流動性=現金及び預金+流動資産に含まれる有価証券

【移動体通信事業での取り組み】

好

調な業績のけん引役である移動体通信事業においては、2010年4～9月期の純増契約数が前年同期と比べて2.3倍となり、他社と比べても圧倒的なNo.1^{※5}となりました。また、携帯電話のサービスエリアについては、2010年3月に発表した「ソフトバンク電波改善宣言」の通り、2011年3月末までに基地局を約12万局に倍増するという目標に向け、経営の最重要課題として取り組みを推進しています。

ソフトバンクではさらに2010年4～9月期から、世界の携帯電話会社ではほとんど見られないARPU(1契約当たりの平均収入)の反転、増加が続いています。

純増契約数
(4～9月期)
No.1!



iPhone、iPadの
好調により
ARPUが増加!

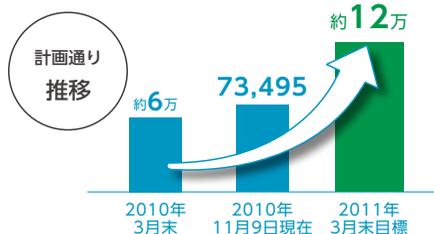
iPhone

iPad

「ARPUが反転、 その理由はデータARPUが 増加していること」

「お客さまの数が増え、ARPUが増える」という理想的なかけ算で増益に至った背景には、データ通信の多いiPhoneの契約者が増加したことに加え、データ通信の利用が少ない2G(第2世代)携帯電話サービスが終了したこと、iPhone以外の携帯電話端末の契約者のデータ通信利用が引き続き増加したことが挙げられます。

■「電波改善宣言」の進捗状況



ソフトバンクモバイルのサービスサイトでは、「電波改善宣言」の進捗状況を毎月報告しています。ぜひご覧ください。

カウンターでわかりやすくお知らせしています。あと **46505** 局

<http://mb.softbank.jp/mb/special/network>



※5. 電気通信事業者協会の統計資料を基に当社算出

【これからのモバイルインターネット戦略】

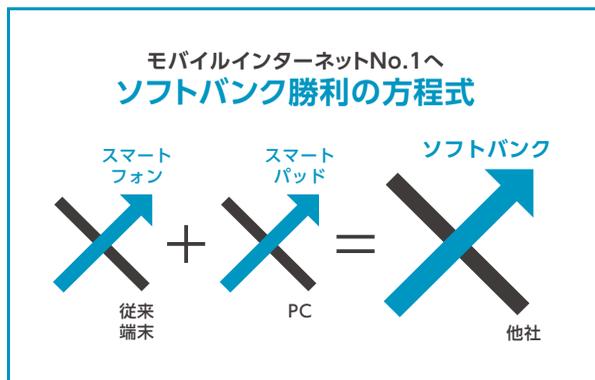


SoftBank 001HT

ソフトバンクはこれからもモバイルインターネットNo.1を目指し、さらなる成長を図っていきたくて考えています。そのための2つの「武器」がスマートフォンとスマートパッドです。

スマートフォンにおいては、2008年より販売を開始したiPhoneが2010年4～9月期に家電量販店におけるスマートフォンの新規販売数の約80%^{*6}を占め、好調を維持しました。女性ユーザーや法人の契約数も増加し、ますますライフスタイルに欠かせないものとなっています。

「勝利の方程式としてX+X=X。 これを実現させたい」



今後は、Android™搭載端末の投入でラインアップを拡充し、さらにスマートフォンに注力していきます。

スマートパッドでは法人でのiPadの導入が加速しています。パソコンより起動速度が速く持ち運びやすいなどの利点から、ビジネススタイルは今後大きく変化するでしょう。ソフトバンクはこのスマートパッドでもNo.1を目指します。2011年3月期第2四半期決算説明会で掲げた「ソフトバンク勝利の方程式」。それはスマートフォンとスマートパッドでNo.1と

なり、そしてモバイルインターネットNo.1になるということです。

この戦略に基づき、現在約2,400万あるソフトバンクモバイルの回線数を2010年代に4,000万回線にするという新たな構想を掲げました。増益、純有利子負債ゼロに加え、この構想を実現すべく、これからもソフトバンクグループは挑戦を続けます。株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

用語解説

スマートフォン

音声通話以外にさまざまなデータ処理機能を搭載した多機能の携帯電話機

用語解説

スマートパッド

パソコン並みの情報処理能力を持ち、通信機能がついた平板状の電子端末

^{*6} 外部調査を基に当社推計

●Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です

Q & A

このページでは、株主の皆さまからのご質問にお答えします。



Q 2010年9月に個人向け社債(愛称:福岡ソフトバンクホークスbond)を発行しているが、金利が2009年度に比べて大幅に下がった理由は?

A 2009年度に5.1%*であった当社の社債調達金利は目覚ましく改善しており、2010年4~9月期の3回の社債発行ではいずれも1%台まで低下しました。社債市場環境の好転と、好調な当社業績による大幅な信用力の改善が寄与したためです。格付機関が付与する発行体格付においても、

この1年間で相次いで格上げとなりました。また、良好な市場環境を利用し、2010年10月には利率の高い2013年満期ユーロ建普通社債の早期償還を行うなど、支払利息の低減にも努めています。

今後とも、市場環境に応じた資金調達を行い、財務基盤のさらなる安定化を図っていきます。

* 2009年6月発行 ソフトバンク株式会社第27回無担保社債



Q 新たに開校した「ソフトバンクアカデミア」とはどのようなものか?

A 「ソフトバンクアカデミア」は、ソフトバンクグループ代表の後継者を発掘・育成することを目的に、2010年7月に開校しました。社内外から約300名(社内:200名、社外:100名)を募集し、社長の孫が自ら初代校長となり講義を行うほか、実践形式のプレゼンテーションなどの演習を行って

います。定期的に入校生の下位10%が入れ替わる緊張感のある講義が続く一方、何度でも再挑戦が可能なソフトバンクらしい制度となっています。このソフトバンクアカデミアにより、次世代のリーダーを育て、長期的な視野でソフトバンクの成長を実現していきます。



Now *doing*ing.

新しいライフスタイルの創造に向けて、「今」取り組んでいること

1 最新 Android™ 2.2 を搭載! ソフトバンクモバイル 新しいスマートフォンを 多数発表

2010年冬・2011年春に向け、ソフトバンクモバイルから6機種、ディズニー・モバイルから1機種の全7機種のスマートフォンラインアップを発表しました。すべての機種に最新プラットフォーム Android 2.2 を搭載し、Flash 10.1対応*、アプリケーションが高速化するなど、さらに快適にモバイルインターネットが楽しめるようになりました。ソフトバンクモバイルではこれからも、モバイルインターネット時代を常にリードすべく、豊富なラインアップを準備していきます。

●Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です

用語解説

Android(アンドロイド)

携帯情報端末向けに開発されたソフトウェアプラットフォームの名称

■2010年冬・2011年春
ソフトバンクモバイルスマートフォン



スマートフォン以外にも個性的な新機種が多数ラインアップ!
詳しくはソフトバンクモバイルのサービスサイトをご覧ください。
▶mb.softbank.jp/mb/

2 アジア・パシフィック大会で金賞、 世界大会で入賞! お客さま満足度 向上への取り組みが 高評価を獲得

ソフトバンクBBは、世界中の国と地域の中からコンタクトセンターおよびその運営における企業や人物の最高峰を認定する「ザ ザ コンタクト センター ワールド アワード 2010 Contact Center World Awards」の『Best Technology Innovation-Internal Solution部門』において、アジア・パシフィック大会で最高賞である金賞、世界大会で入賞を果たしました。ソフトバンクBBが独自に

応援ありがとう！



3 ソフトバンクとなって初の達成！ 福岡ソフトバンクホークス リーグ優勝

ラインアップ



福岡ソフトバンクホークスは2010年プロ野球パ・リーグで、ソフトバンクとなってから初めての優勝を果たしました。惜しくも日本シリーズ進出は逃しましたが、皆さまの熱い応援に心から感謝を申し上げます。これからも変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。



全機種

Android 2.2 に対応しているのはソフトバンクだけ！
(2010年11月4日現在)

開発した「スマートコールスクリプト」という、お客さま満足度向上、ノーペーパー化、効率化のシステムが高く評価された結果です。また、ソフトバンクモバイルもアジア・パシフィック大会「Best in Customer Service部門」でファイナリストに選ばれました。ソフトバンクグループでは、今後もさらなるお客さま満足度向上を目指していきます。

カスタマーセンターの
取り組みで受賞！

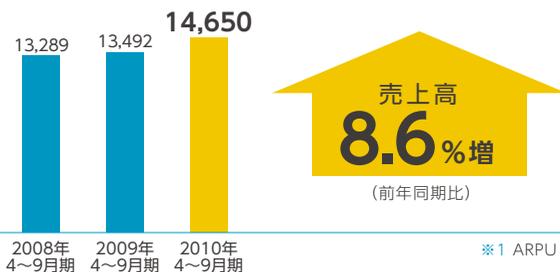


世界大会で表彰されるソフトバンクBBの発表者(左)

連結業績 ハイライト

移動体通信事業が大幅増益で最高益★をけん引。
2009年4～9月期と比較し増収増益を達成しました。

■売上高 (単位：億円)

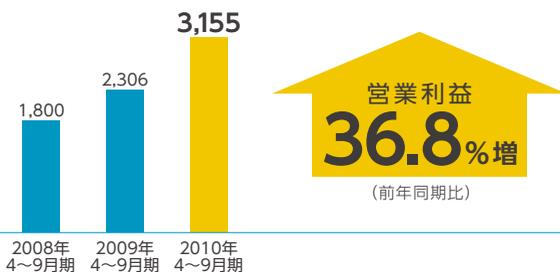


移動体通信事業の好調継続で 過去最高★を更新

売上高は1兆4,650億円となり、2009年4～9月期と比較して8.6%増加しました。これは主に、移動体通信事業において携帯電話契約数の増加、ARPU※1の上昇、携帯電話端末の出荷台数※2が増加したことによるものです。

※1 ARPU (Average Revenue Per User) : 1契約当たりの平均収入 ※2 販売代理店への出荷(販売)台数

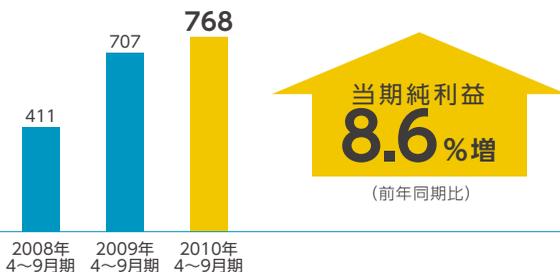
■営業利益 (単位：億円)



営業利益3,000億円を突破し 5期連続最高益★

営業利益は3,155億円となり、2009年4～9月期と比較して36.8%増加しました。この結果、5期連続で営業最高益★を更新しました。

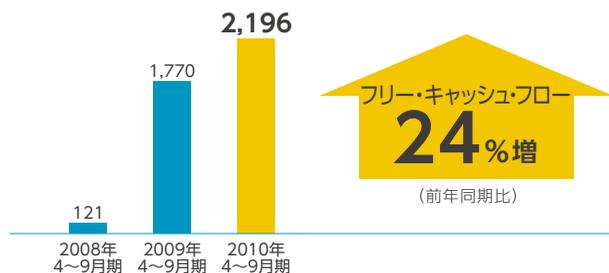
■当期純利益 (単位：億円)



2期連続で最高益★を更新

当期純利益は2009年4～9月期と比較して8.6%増加の768億円を達成し、2期連続で最高益★を更新しました。

■フリー・キャッシュ・フロー (単位：億円)



2期連続で過去最高★を更新

好調な事業から創出される営業活動によるキャッシュ・フローが2期連続で過去最高★を更新し、フリー・キャッシュ・フローも2期連続で過去最高★を更新しました。

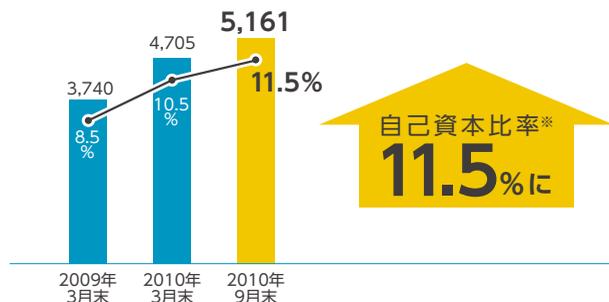
■純有利子負債 (単位：億円)



ピーク時から 約9,300億円の削減を達成

純有利子負債はピーク時の2006年6月末と比べて約9,300億円減の1兆4,550億円となり、目標に向け順調な削減を続けています。

■自己資本／自己資本比率 (単位：億円／%)



さらなる改善に向け 順調に推移

自己資本は2010年3月末からさらに増加し、5,161億円となりました。自己資本比率は11.5%となり、順調な改善が続いています。

※ 自己資本比率=自己資本÷総資産

★ 当社が連結決算を開始した1994年度以降

セグメント別 営業概況

移動体通信事業が過去最高益^{※1}を更新し、
大幅な増益となりました。



移動体通信事業

- ・携帯電話サービス
- ・携帯電話端末の販売

携帯電話契約数の増加、
ARPU^{※2}の上昇により
過去最高益

※1 当社が移動体通信事業セグメントを設置した2006年度以降

※2 ARPU (Average Revenue Per User) : 1契約当たりの平均収入

□売上高 (単位: 億円)

□営業利益 (単位: 億円)



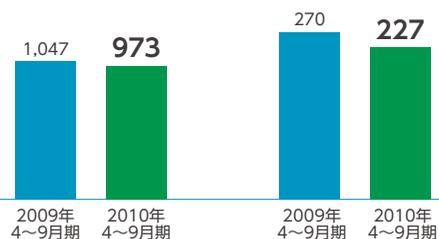
ブロードバンド・ インフラ事業

- ・ブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」
- ・IP電話サービス

前年同期比減益。
回線数増加への取り組みを推進

□売上高 (単位: 億円)

□営業利益 (単位: 億円)

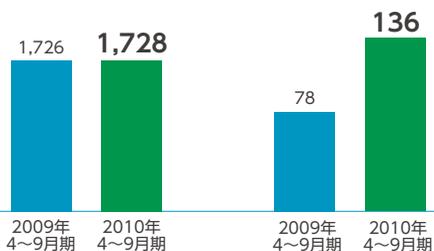


固定通信事業

・「おとくライン」を中心とした
固定通信サービスの提供

経営の効率化で
営業利益が大幅に増加

□売上高 (単位: 億円) □営業利益 (単位: 億円)

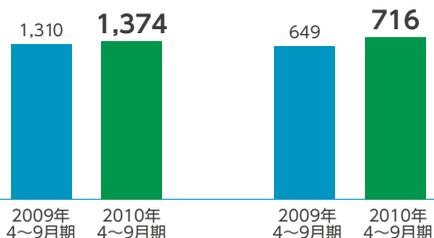


インターネット・カルチャー事業

・インターネット上の広告
・ポータルサイト「Yahoo! JAPAN」の運営
・「Yahoo!ショッピング」などの電子商取引

インターネット広告の
売り上げが増加し増益を維持

□売上高 (単位: 億円) □営業利益 (単位: 億円)



【会計基準について】

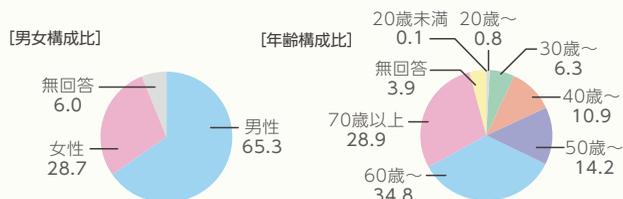
ソフトバンクでは2010年度から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(以下、「新基準」)を適用しています。P.10~11では、2009年度から新基準を適用したと仮定して算出した業績を掲載しています。

株主アンケート 結果ご報告

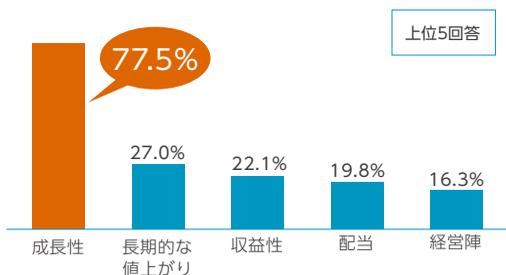
「株主通信 2010年春夏号」で実施したアンケート結果から、その一部をご報告します。

■ ご回答いただいた方の属性(%)

アンケート実施期間：2010年6月下旬～2010年9月末
有効回答数：8,424件(回答率2.66%)



Q. 株式購入の際に、重視することは何ですか。(複数回答可)

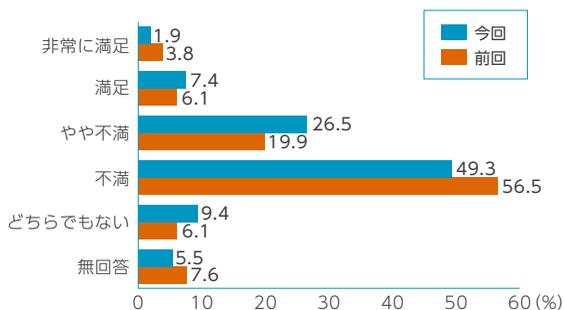


【寄せられたご意見】

- 時代のニーズを先取りしていると思ったので(50代・女性)
- 孫社長の存在、リーダーシップ(40代・男性)
- 高配当と株価の長期的高値安定に期待し、5年以上保有している(70代以上・男性)
- 携帯電話を使っているので親しみがある(30代・女性)

株主の皆さまの多くが、ソフトバンクグループの長期的な成長に期待されていることが分かります。これからもご期待に応えるべく、企業価値の最大化に取り組んでいきます。

Q. 配当について、ご意見をお聞かせください。



【寄せられたご意見】

- 御社には期待していますが、配当につき不満(70代以上・女性)
- 株主重視の姿勢を実現して欲しい、増配など(50代・男性)
- これからも楽しみにしています(40代・女性)

「不満」が7.2%減少し、「やや不満」が6.6%増加しました。ソフトバンクグループでは2009年度の増配に引き続き、これからも純有利子負債削減目標の達成状況に合わせた段階的増配を実施し、適正な株主還元而努力していきます。

ご協力ありがとうございました。

会社概要

(2010年9月末現在)

■ 社名(商号)

ソフトバンク株式会社
(英文社名)SOFTBANK CORP.

■ 設立年月日

1981(昭和56)年9月3日

■ 本社所在地

東京都港区東新橋1-9-1

■ 資本金

1,887億7,134万6,101円

■ 株式数

発行可能株式総数 3,600,000,000株

発行済株式総数 1,082,526,378株

■ 株主数

288,859名

■ 連結子会社数

117社

■ 持分法適用会社数

79社

■ 従業員数

144人(連結ベース21,872人)

■ 事業内容

純粋持ち株会社

■ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

■ 取締役および監査役

□ 代表取締役社長

孫 正義

□ 取締役

宮内 謙

笠井 和彦

井上 雅博

ヤフー株式会社 代表取締役社長

ロナルド・フィッシャー

Director and President, SOFTBANK Holdings Inc.

ユン・マー

Chairman and CEO, Alibaba Group Holding Limited

柳井 正(社外取締役)

株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼社長

村井 純(社外取締役)

慶應義塾大学 環境情報学部 部長・教授

マーク・シュワルツ(社外取締役)

Chairman, MissionPoint Capital Partners, LLC

□ 常勤監査役

佐野 光生

□ 監査役

宇野 総一郎(社外監査役)

弁護士

柴山 高一(社外監査役)

公認会計士・税理士

窪川 秀一(社外監査役)

公認会計士・税理士

メールでもお知らせ

ソフトバンクの「今」が分かる
メールマガジン
ソフトバンクニュース

ソフトバンクグループの取り組みや決算情報、現場の社員による
注目事業の紹介などを、ご登録いただいたメールアドレスに月1回お届けしています。

[お申し込みはこちら](http://www.softbank.co.jp/mail/) www.softbank.co.jp/mail/

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日 3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 / 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 (連絡先) 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 証券コード 9984
- 公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL: www.softbank.co.jp/kokoku/
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します)
- 株券電子化によるご注意
 1. 株券電子化に伴い、住所変更や買い取り請求、その他の手続きは、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることになっています。株式に関する各種手続きについては、口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きについては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっていますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店でもお取り扱い致します。
 3. 未受領の配当金については、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いします。

| 免責事項 | 本誌に掲載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本誌に掲載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

- 本誌に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
 - ・ Apple、Appleのロゴは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標です。
 - ・ iPhoneはApple Inc.の商標です。
 - ・ iPadはApple Inc.の登録商標です。
 - ・ iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
 - ・ Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 本誌の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。
- 本誌に掲載されている携帯電話の画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。
- 本誌に掲載されているサービス内容および製品の仕様・性能・デザインは、予告なく変更する場合があります。

ソフトバンク株式会社

〒105-7303 東京都港区東新橋1-9-1

TEL: 03-6889-2000 E-mail: sb@softbank.co.jp www.softbank.co.jp

